



## 地域で支えあいを。避難行動要支援者支援制度を説明

大規模災害時の自助・共助活動を進めようと、8月1日、避難行動要支援者支援制度に関する説明会が、市農村環境改善センター2階会議室で行われました。自治区長をはじめ地区役員の皆さん47名が参加した説明会では、先の7月豪雨での市災害対策本部対応状況や他市町の状況を振り返りながら、避難行動や避難所運営を考えると同時に、災害時に特別な配慮を必要とする方の名簿作成による対象者把握や地域での支援体制づくりについて認識を深めました。名簿作成にかかる情報提供については、広報6月号背表紙にも掲載していますので、ご覧ください。



## 平成30年7月豪雨にかかるとの対応報告

活発な梅雨前線の影響により各地で甚大な被害が発生した平成30年7月豪雨。東温市での対応状況や被害状況を報告します。

### ▼避難所開設

7月6日午前6時5分、東温市災害対策本部を設置。谷あいの集落を中心に市内9か所に避難所を設置しました。

### ▼避難者数(延)

9か所の避難所に、11世帯19人が避難されました。

### ▼被害状況

人命に関わる被害なし。対策本部設置中に落石、土砂崩れ等による通行止めが発生しましたが、いずれも復旧済。



## 地域が舞台！林間学校にアートヴィレッジの風

下林区にある大安寺で、7月26、27日に林間学校が行われ、地元小学生らが参加しました。主催したのは、大安寺住職の窪田さん。今回の林間学校では、野外生活を織り交ぜながら、自然との触れ合いを感じる内容に加えて、市の新たなまちづくり「アートヴィレッジ」とおん構想を進める東温市移住定住促進協議会が協力して、市内在住の画家や演奏家との交流の場が設けられ、自然豊かな下林区に参加者の楽しそうな声が響いていました。



## マロエレレー JICA(国際協力機構)派遣栗原純子さん

8月3日、JICA(国際協力機構)のシニアボランティアでトンガ王国(太平洋州 ポリネシア)に派遣していた栗原純子さんが帰国し、市長を表彰訪問しました。栄養士の資格を持つ栗原純子さんは、「国が違って喜怒哀楽は同じ。トンガの食文化を壊さないようにトンガ人に不足している栄養素を考えながら柔軟に対応してきたつもりです。なにかをはじめめるのに年齢は関係ないと思っています」と話し、2年間の活動について報告しました。



## 非行防止と更生援助の輪 社会を明るくする運動東温市大会

7月27日、中央公民館において、第5回社会を明るくする運動東温市大会が開催されました。酷暑の中、約160人が参加し、中学生の力強い意見発表やボランティア団体の更生保護の取組み発表、さらに、愛媛県地域生活定着支援センター相談員の葛本啓士さんから、「矯正」から「共生」へ」という演題で、講演をいただきました。犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めることができ、改めて非行防止と更生援助の輪を広げていくことの大切さを再確認できた大会となりました。



## もしもに備えて 高圧洗浄機贈呈

8月7日、ライオンズクラブ国際協会336-A地区1Rより消防団に高圧洗浄機が8台贈呈されました。高圧洗浄機は災害時の洗浄や浸水してしまった家屋の泥出しに役立つもので、各分団に配備し、有事の際に活用していきます。ライオンズクラブ国際協会336-A地区1R藤岡代表は、「使うことのないのが一番ですが、もしもの時に役立ててもらえれば」と話しました。



## 消費者と事業者の理解を深める 一日食品衛生監視員事業

7月31日、食品衛生の普及向上をはかるため、消費者代表に一日食品衛生監視員を委嘱し、施設設備や食品取扱が衛生的に行われているかを確認しながら各班に分かれて、事業所を回りました。これは、安全な食品を消費者に提供すべく努力している食品営業事業者の実態を消費者が見て、食に対する安心・安全の理解を図る目的で毎年行っているものです。監視員の方は「普段は見れない製造しているところを実際に見て、安心感がよくなりました」と口々に話していました。



## 惣河内神社・金毘羅寺 消火・救護訓練

8月12日、地域の財産であり、歴史ある神社・寺の建造物などを地域が一体となって火災から守り、併せて大規模災害時の孤立化対策として住民相互の連携と協力及び防災意識の向上を目的として河内の惣河内神社・金毘羅寺で消火救護訓練が行われました。当日はバケツリレーや消火体験、数名の負傷者を想定した応急救護活動等を実施し、万が一の事態に備えました。



東谷小学校少年消防クラブの皆さん